

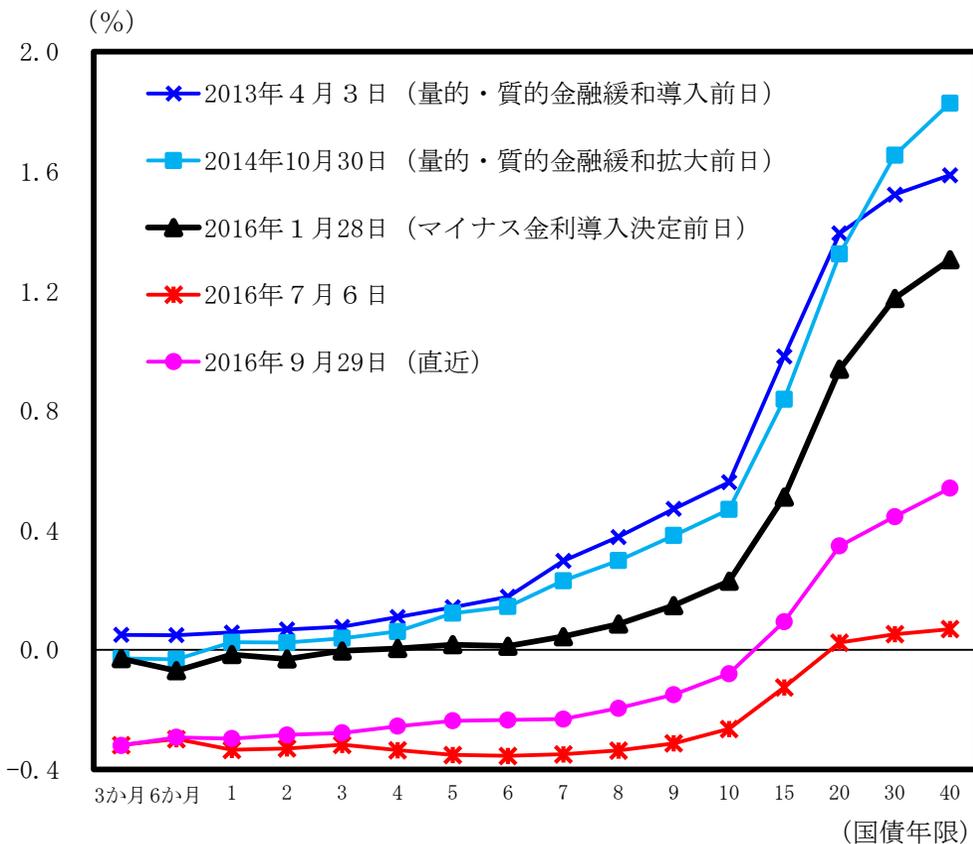
金融政策、物価等に関する集中審議資料

平成28年9月30日
内閣府

国債買い入れ・各種金利

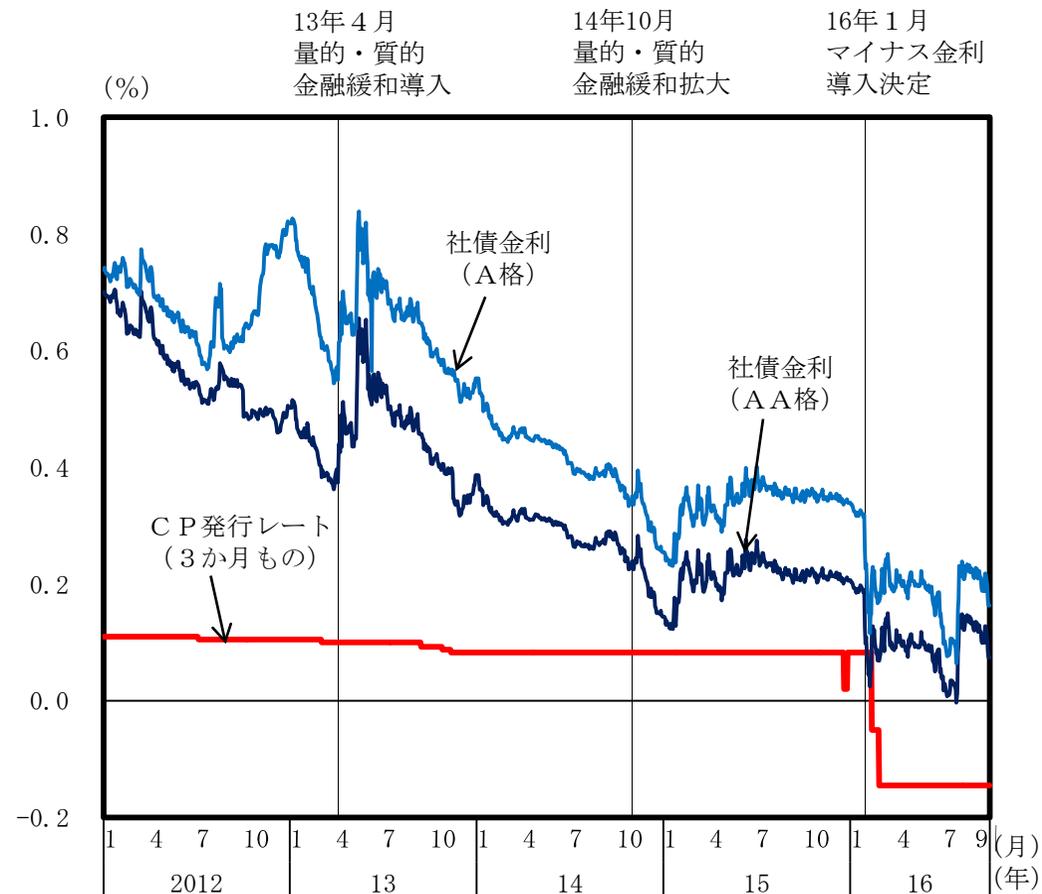
- 量的・質的金融緩和導入後、日本銀行の国債買い入れを受けて、幅広い年限の国債利回りが低下。マイナス金利導入以降、一段と低下が進んだ。
- 国債利回りの低下を背景に、CP発行レート、社債金利といった資金調達金利が低下。

(1) 国債金利



(備考) 1. Bloombergにより作成。

(2) 資金調達金利 (CP、社債)

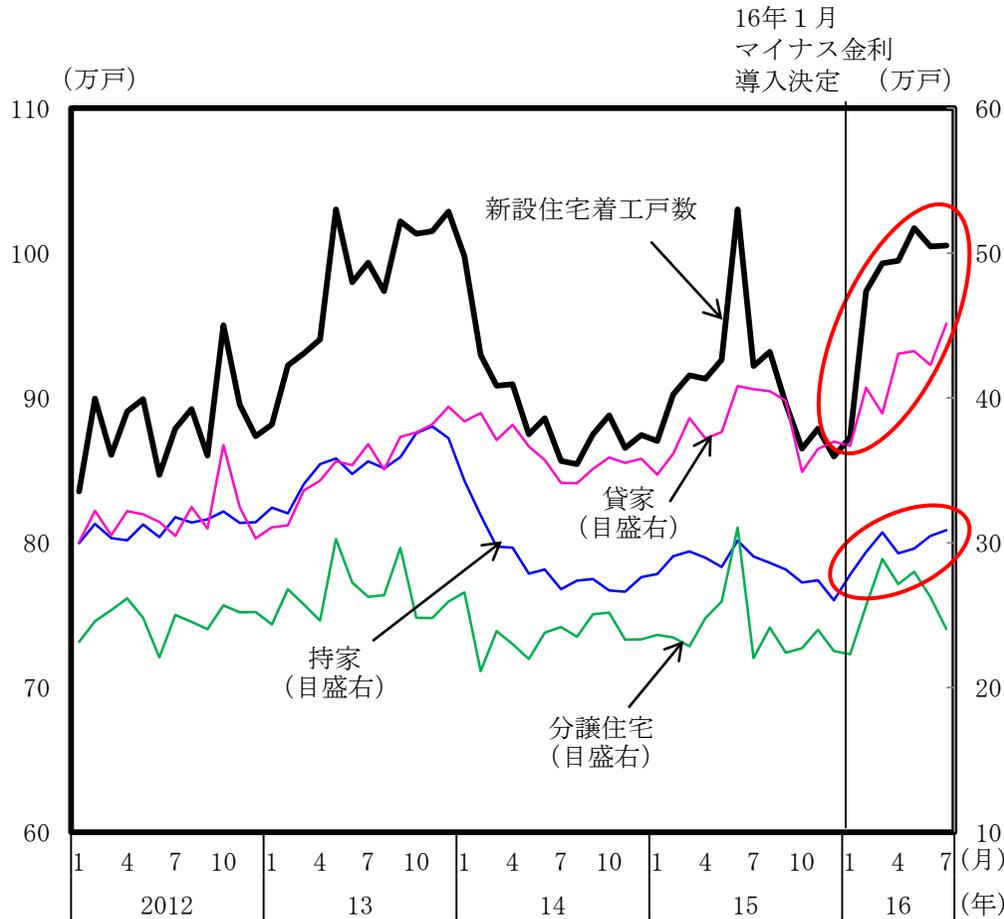


(備考) 1. Bloomberg、東京短資により作成。
2. 社債利回りはそれぞれ3～7年までの金利の単純平均値。

実体経済の動き

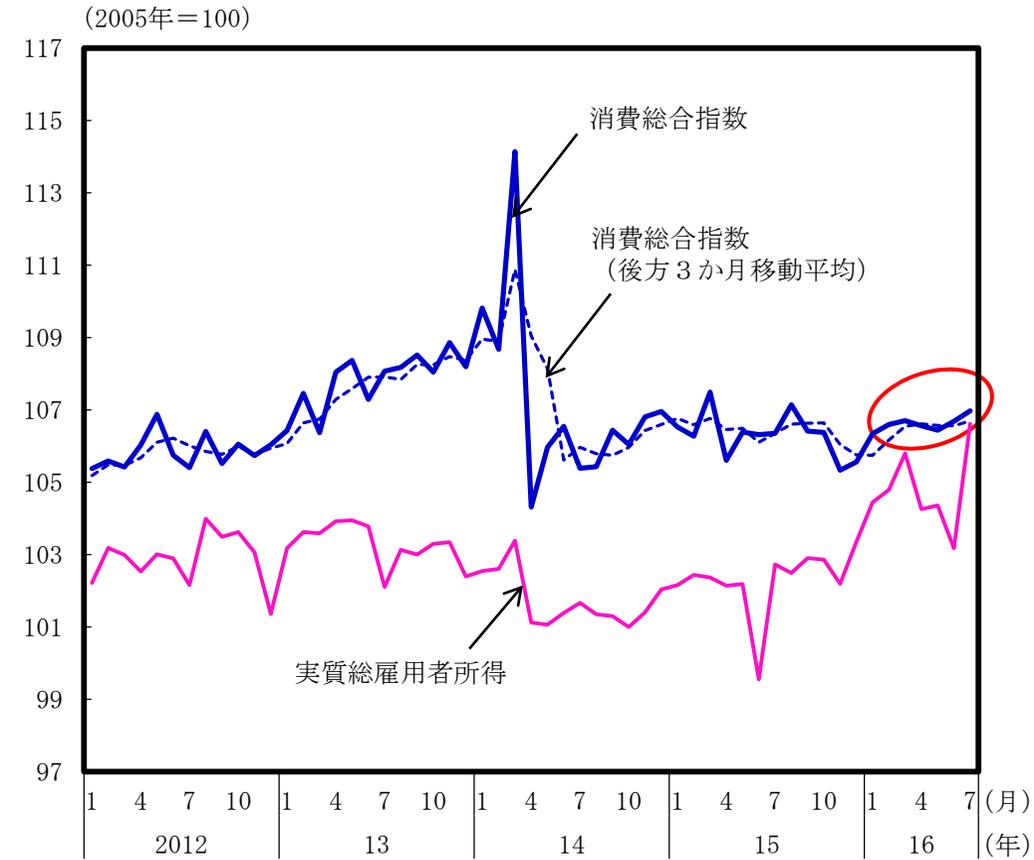
- 新設住宅着工戸数は2016年に入って持ち直している。
- 雇用・所得環境が改善するなか、消費は総じてみれば底堅い動きとなっている。

(1) 新設住宅着工戸数



(備考) 1. 国土交通省「住宅着工統計」により作成。年率。季節調整値。
2. 住宅建築の受注から着工までは数か月以上かかることに留意。

(2) 消費総合指数と総雇用者所得



(備考) 1. 消費総合指数及び実質総雇用者所得は内閣府試算値。季節調整値。